



松田 初 議員

**【質問】** 今年の産米はカメムシの被害で、1等米比率が悪化して農家の収入減を招いている。被害を受けた米粒を取り除く機械を購入する検討をすべきだが。

**【市長】** 色彩選別機を導入すれば1等米比率が上がり、

農家所得向上につながることは承知している。今年も運搬費、選別料をかけ機械整備している所に依頼し、被害米調整をしている。現在行っている学校給食にも役立つものであり、地産地消推進にも機械導入の効果が大きい。JA遠野からも話があり、前向きに購入を検討中である。

**【質問】** 2年ぶりの米国牛肉輸入再開を機にまた合併記念施策として、公共牧場使用料を安くすること、高齢者等貸付牛購入事業枠の拡大をすることなど増頭策が必要ではないか。

**【市長】** 貸付希望者は相当多く、本年度も予算を増額し貸付牛の拡大に努めている。公共牧場については、畜産公社経営改革委員会の放牧専門部会で再三協議している。規模拡大を目指す畜産農家に遊休パイプハウスの材料支給と一部組立費支援も検討している。

**【質問】** 教育委員会に専門の中学校再編担当職員を配置されたが、今後の計画は。

**【教育委員長】** 生徒数が966人から10年後717人に減る見込み。平成20年度は全校生徒30人台の中学校が複数校となることから、平成19年度中には一定の結論を出したい。今年度は内部検討委員会、その後、保護者や地域の方々で構成する外部検討委員会とし、地域懇談会開催など今後の中学校のあり方を全体の課題として話し合いを進める。

**【質問】** 若者の活動拠点の整備を。

**【教育長】** 明るくて使い易くなるような改修を検討する。



地域振興のために宮守地域まちづくり会議が発足した

## 宮守町の新たな振興策は

**【質問】** 10月1日の合併により、宮守総合支所に勤務する職員数も合併前の約80名に対し、約50名が本所に異動したため、大幅な減少となった。また、宮守町の区域で開催していた産業まつりや郷土芸能まつりなどのイベントや各種会議・会合等も減少すると受け止めている。

このことにより、合併後に宮守町に与える地域経済への影響は少なからず発生しており今後さらに拡大が懸念されることから、新たな振興策について伺いたい。

**【市長】** 宮守町の新たな振興策については、職員数の減員や各種会議・会合等の機会が減少することによる地域経済の影響については、ご指摘の通り懸念される事項である。

その支援策として、来年3月で完成の運びとなる宮守ホールや既存施設である総合支所や総合センター等の公共施設の有効活用の観点から、今月中に設置を予定している宮守地域まちづくり会議の意見、提言をいただきながら、宮守町独自の地域活動や都市との交流事業などの様々な活動を宮守町という新たなキャンパスで展開し活性化を進めて参りたい。



菊池 充 議員

**【質問】** 構造改革特区で「日本のふるさと再生特区」の認定を受けて取り組まれている企業の農業参入の実態について、農業生産100億円達成アクションプランとの位置付けも含めて、取り組みの成果と今後の支援策について伺いたい。

**【市長】** 特区については、建設業2社がハウレン草と菌床椎茸栽培に取り組み雇用の拡大に成果を上げている。新たな企業が参入を検討しており環境を整えながら、農業生産100億円の達成に向けて、生産事業体として支援をしていく。また、遊休農地の解消についても企業や農

家とAST（アスト）との連携を図りながら努めたい。

※AST（アスト）…農業活性化本部